

広報 しばた



心の中の悪い鬼を やっつける

節分に向けて、西船迫保育所の子どもたちが、鬼のお面づくりに挑戦。先生から、心の中にある悪い鬼をやっつけるためのお話を聞いた子どもたちは、思い思いに表情豊かな鬼のお面をつくります。これで豆まきの準備は万端です。

【1月21日(木) 西船迫保育所】



特集1

令和3年柴田町成人式

1月10日(日)、船岡中学校を会場に成人式が挙行されました。今年の新成人は、平成12年4月2日から平成13年4月1日に生まれた480人(男性286人、女性194人)で、式典には245人(男性127人、女性118人)が出席し、大人としての一步を歩み始めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場への入場は新成人のみに制限を設けての式典となりましたが、久しぶりの同級生との再会に、笑みがこぼれていました。

滝口町長は式辞で、「社会や多くの人を元気にしていくためには、柔軟な発想や、エネルギーシユな行動力を持つ若い皆さんの力が必要です。誰一人、取り残されることのない豊かな日本を築いてくれることを期待しています」と述べました。

※写真の新成人は撮影時のみマスクを外しています。

生涯学習課

TEL 55-2135





新成人代表 かたおか ゆりの 片岡 夕里乃さん

これまで、共に学び、励まし合い、親しんできた友人と、成人式という大切な日をこの柴田町で迎えられることを大変嬉しく思います。

この20年間たくさんの方々から学び、支えられて成長してきました。

そして何より、たくさんの愛情を込めて大切に育ててくれた両親や家族には感謝してもしきれません。

私は現在、生まれ育った柴田町で社会人一年目として働いています。周りへの感謝の気持ちを忘れず、今までお世話になった方々に恩返しをし、少しでも柴田町に貢献できる人材になれるよう日々精進してまいります。

新成人として晴れの門出を迎えた今、すでに職についている人や夢に向かって学業に励んでいる人など、立場はさまざまですが、それぞれが大人としての自覚を持ち、常に前向きに進んでいくことをここに誓います。

今後、それぞれの道で活躍できるよう努めてまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

※一部抜粋

20歳のメッセージ

私たちがこのように成人できたのは、柴田町という豊かな自然の中で育んだ多くの人とのつながりがあったからこそだと感じています。小学校、中学校時代は先生方のお世話になり、共にたくさんの思い出を作った友人、そして何より母親のいない私をここまで育ててくれた家族にはどれだけ感謝してもしきれません。

現在は希望していた大学に進学し、教員を目指して、日々勉学に励んでおります。一日でも早く家族に恩返しをすることが今の私の目標です。

2020年は新型コロナウイルスによって、暗いニュースばかりが報道される毎日でした。今年、成人を迎える私たちには今の沈んでしまった日本を明るく照らす使命があります。成人者としての責任と自覚を持ち、力を尽くしていきたいと思えます。

私たちはそれぞれの道へと進んでいきますが、私たちが育ててくれたこの柴田町を忘れることは決してありません。どんな時も上を向き、一歩ずつ前に進み続けることを誓い、成人のあいさつとします。

※一部抜粋



新成人代表 たかはし たくみ 高橋 巧己さん

恩師からのメッセージ

● 佐藤 一仁 先生

(元船岡中学校 3学年主任)

皆さんに健康第一という言葉を贈ります。年を取るほどやりたいことが出てきます。そのためにも健康に気を付けて頑張ってください。

● 黒須 拓 先生

(元船岡中学校 3年1組担任)

優しく、楽しく、未来を謳歌できるような人生を送ってもらいたいと思います。皆さんの活躍を期待しています。

● 横内 るり子 先生

(元槻木中学校 3年1組担任)

皆さんの武器は若さです。失敗やプレッシャーを恐れずに素敵な大人を目指して頑張ってください。

※ビデオレターより抜粋



職員の給与と 定員管理について 公表します

「柴田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与および職員数などについてお知らせします。

職員の給与については、国の人事院勧告や県人事委員会勧告を参考に、町議会の審議を経て、条例などにより定めることになっています。

※町職員の給与や勤務条件・職員数などの詳しい内容および人事行政の運営などの状況については、町ホームページでご覧になれます。

問 総務課 TEL55-2111

①人件費の状況（令和元年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 令和2.3.31現在	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成30年度の人件費率
37,461人	147億3,745万円	7,182万円	22億2,978万円	15.1%	16.8%

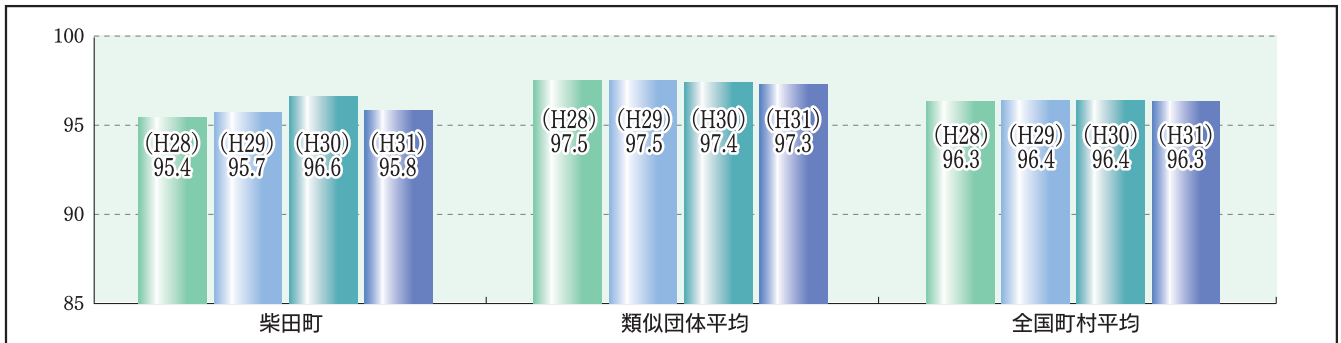
(注) 人件費とは、一般職、特別職に支給される給与、共済負担金、退職手当負担金、災害補償費などをいいます。

②職員給与費の状況（令和元年度普通会計決算）

職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 B/A
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
271人	9億5,655万円	1億6,683万円	3億7,350万円	14億9,688万円	552万円

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、平成31年4月1日現在の人数です。

③ラスパイレース指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレース指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレース指数を単純平均したものです。

④職員の平均年齢、平均給料月額状況（令和2年4月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
柴田町	42.5歳	302,324円	53.3歳	291,220円
宮城県	42.2歳	319,143円	52.8歳	311,140円
国	43.2歳	327,564円	50.9歳	287,283円

⑤期末・勤勉手当の状況（令和元年度支給割合）

区 分	支給割合
期末手当	2.60月分
勤勉手当	1.90月分

(注) 職制上の段階、職務の級などによる加算措置があります。

⑥職員の初任給の状況（令和2年4月1日現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	大卒程度	高卒程度	高卒程度	中卒程度
柴田町	182,200円	150,600円	147,900円	132,300円
宮城県	189,600円	155,700円	153,300円	136,500円
国	182,200円	150,600円		

⑦退職手当の状況（令和2年4月1日現在）

区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	1人当たり平均支給額
自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.709月分	
勸奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.709月分	47.709月分	

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額です。

⑧特別職の報酬などの状況（令和2年4月1日現在）

区分	給料		報酬		
	町長	副町長	議長	副議長	議員
報酬などの月額	904,000円	700,000円	387,000円	329,000円	313,000円
期末手当	3.35月分（令和元年度支給割合）				

⑨部門別職員数の増減状況（各年4月1日現在）

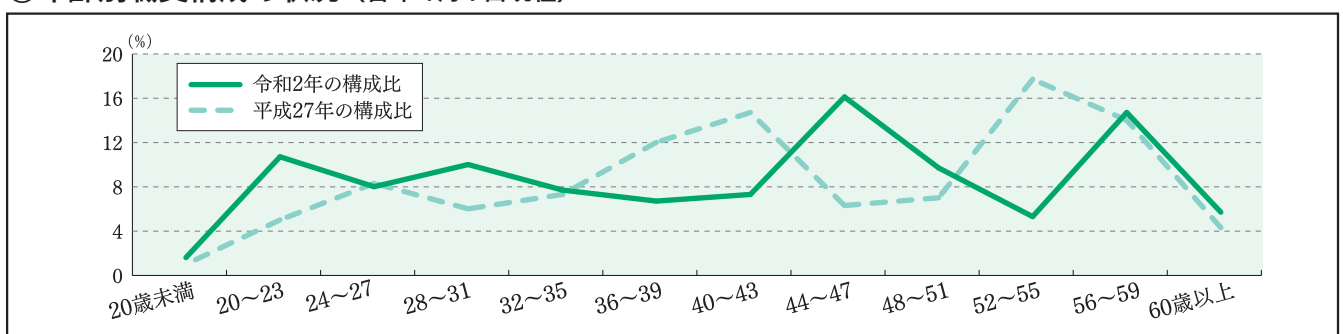
（単位：人）

区分		部門								
		一般行政								
職員数	令和2年	議会	総務	税務	農林水産	商工	土木	民生	衛生	小計
	平成31年	4	58	16	11	6	16	86	21	218
	対前年増減数		△3	1			△5	1	3	△3

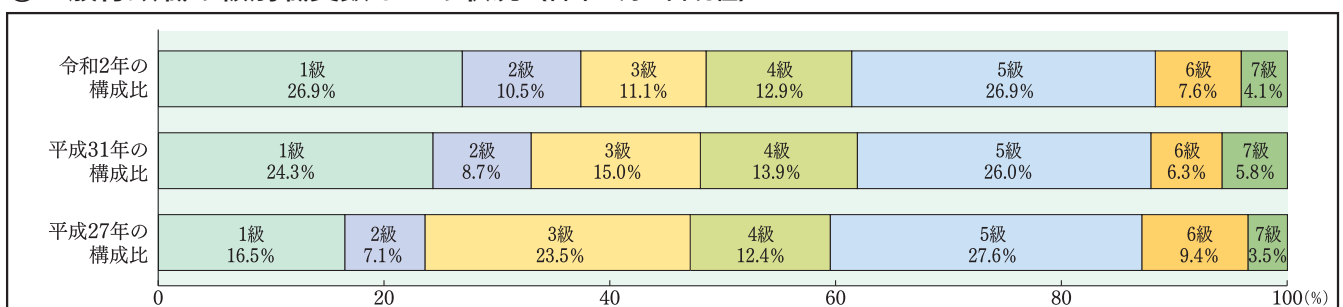
区分		部門					総合計
		特別行政	公営企業等会計				
職員数	令和2年	教育	水道	下水道	その他	小計	297
	平成31年	52	6	5	16	27	297
	対前年増減数	2	2	△1		1	

（注）職員数は、一般職に属する職員数です（自治法派遣職員を除きます）。

⑩年齢別職員構成の状況（各年4月1日現在）



⑪一般行政職の級別職員数などの状況（各年4月1日現在）



（注）教育長を除き、自治法派遣職員を含みます。



172

柴田町長 滝口 茂

2月6日(土)午後7時から、BS-TBSの2時間スペシャル番組「高島礼子の家宝捜索―蔵の中には何がある?―」で柴田町の蔵などが放送されます。番組では、高島さんが長年その自宅の蔵で眠っていたお宝を探し出し、蔵のスペシャリストや鑑定士とともにお宝を鑑定したり、その品々にまつわる由来やエピソードを紹介するものです。

収録は、昨年の12月9日(水)、10日(木)の2日間、船岡城址公園、麴やコレクション、入間田地区などで行われました。何せ2時間に及ぶ歴史探訪です。歴史的遺産の乏しい柴田町だけで番組が作れるのか心配になったところです。事前の打ち合わせでディレクターから、「町長の家に伝わる歴史的な品を持って来てもらってもいいですよ」と言われました。しかし、その企画は採用されず、番組に足りない分は、村田町の蔵の宝物の紹介で穴埋めされたようです。

ちよっぴり残念だったのは、収録当日は町議会12月会議の真ただ中で、高島さんにお目にかかることができなかつたことです。立ち会った職員によりますと、高島さんは、映画「極道の妻たち」で極道相手にたんかか切るシーンを演じただけに、とて

も56歳とは思えない貫禄のある女優さんで、都会の香りがしたとのことでした。

高島さんは、船岡城址公園に2日間も足を運ばれ、山頂から眼下に広がる街並みや、白い衣装をまとった蔵王連峰の雄大な眺め、また、さくらの里での買い物を楽しまれたようです。当日は、どんな映像が流れるのか楽しみです。

今回の収録で反省したことは、これまで町として歴史的遺産の保全や活用について、あまり意を用いてこなかつた経緯があつたのではないかという点です。

麴やコレクションをはじめとする歴史的建造物や遺構、工芸品、鎧や刀といった柴田町ゆかりの歴史的、文化的遺産の継承は、愛好家任せだったように思います。こうした歴史的遺産を個人の使命感だけで後世に引き継いでいくことは、もはや困難になつていくことが分かりました。

何とか歴史的遺産を、官民が連携しながら保全や活用ができないものかと思案しているところです。柴田町にゆかりのある歴史的遺産を失つては、歴史の趣を残す情緒あるまちづくりはできなくなつてしまします。今回の放送を機に、改めて歴史的遺産の大切さを認識していただければと思います。

高島礼子さんと麴やコレクション

しばた歴史探訪

第10回 角田馬車鉄道が走つた

現在のJR東北本線は、日本鉄道会社の奥州線として、明治20年(1887年)に上野・塩釜間が開通、槻木駅は明治24年(1891年)に開業しました。

主要産業の養蚕に悪影響があるとして、この鉄道路線のルートとなることに反対したとされる伊具(角田・丸森)の人々も、槻木駅に接続する鉄道があれば大変便利だと考えるようになり、明治32年(1899年)、主に伊具の人々が資金を出し合い、角田馬車鉄道が開通しました。道路に敷いたレールの上を馬が客車を引いて、角田―槻木間20kmを80分かけ、1日4往復走り、料金は20銭でした。

大正5年(1916年)には、角田軌道株式会社へ改称し、蒸気機関車を導入しました。客車2両と貨車1両を引き、角田―槻木間の所要時間は40分となりました。しかし、機関車はあまり力がなかつたようで、上り坂で立ち往生し、乗客が降りて後押しを手伝つたなどという話が残っています。

台風や洪水など多くの自然災害や、第一次世界大戦後の不景気設備の老朽化にも苦しめられました。角田軌道株式会社は、大事な機関車を失い、客車の前部にトラックのガソリンエンジンを取り付けて走らせました。さまざまな努力をしたものの、経営は悪化する一方で、昭和4年(1929年)10月に営業停止、11月に解散となりました。

当時の人々が角田馬車鉄道に託した思いは、現在の阿武隈急行線として実を結んだというところなのでしょう。

圓しばたの郷土館

☎55-0707



路線が示されている地図 (明治36年)

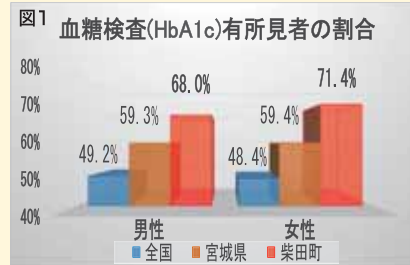


第76回のテーマは、
「糖尿病の合併症、糖尿病予防について」です。

平成28年度柴田町特定健康診査の結果では、血糖検査有所見者（血糖値が高い人）の割合は、全国の割合を大きく上回っています（図1）。高血糖は町民の重要な健康課題となっています。

高血糖状態が続くと「糖尿病」に

血糖値が上がると血糖量をコントロールするホルモン“インスリン”が大量に分泌されます。しかし、過食や運動不足によって蓄積した内臓脂肪が、インスリンの働きを抑えてしまいます。生活習慣を改善しないままだと、常に血糖値が高い糖尿病となります。



出典：平成28年度特定健康診査法定報告結果より

糖尿病を治療せず放置すると深刻な合併症に

糖尿病で怖いのは合併症と言われています。合併症は自覚症状が乏しいため、症状が現れたころには重症化し、取り返しのつかない状態に陥ることも少なくありません。

糖尿病の3大合併症

1. 糖尿病性網膜症

網膜の血管が傷み、**失明**に至ることがある

2. 糖尿病性神経障害

進行すると壊疽（えそ血行障害により体の組織が破壊されること）により、**足を切断**することがある

3. 糖尿病性腎症

尿を作れなくなり、**人工透析**が必要になることがある

生活習慣改善で糖尿病のリスクを減らしましょう

糖尿病を予防し、正常な血糖値を保つためには生活習慣の改善が必要です。今日から始められる、食事と運動のポイントをご紹介します。

食事のポイント

- 食物繊維を多く含む食品（野菜・きのこ・海藻など）を積極的に取る
食物繊維は、血糖値の上昇を抑えるため、食事の最初に取りましょう。
- 間食はなるべくしない
食べたいときは、血糖値が上昇しづらい乳製品（チーズ、ヨーグルトなど）や、みかん（中2個）、りんご（1/2個）がおすすめです。

運動のポイント

- 1日20～30分の運動
通勤や家の掃除、歩いての買い物も運動になります。運動は食事の1～2時間後に行うと、食事で上昇した血糖値を下げるができます。

図健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

広 告

広 告

まちかど NEWS



歌を歌ったり聞いたりすることが好きな小池さん。



手先が器用で縫い物が得意な湯山さん。

100歳おめでとうございますNEWS

榎木上町1丁目の小池義見さん（大正10年1月1日生）と、船岡字館山の湯山みつさん（大正10年1月13日生）が、めでたく100歳を迎えられました。

柴田町出身の小池さんと、大河原町出身の湯山さん。お二人とも好き嫌いなくしっかりと食事を取られているそうです。それが長生きの秘訣なのかもしれません。

これからもお体を大切に、いつまでも元気でいらしてください。

大池唯雄没後50年記念企画展NEWS

12月22日（火）から1月31日（日）まで、「大池唯雄没後50年記念 時代をかたる直木賞」が、しばたの郷土館で開催されました。

本町出身の大池唯雄氏は、歴史小説に高い評価を得た作家で、昭和14年に「兜首」と「秋田口の兄弟」で東北初の直木賞を受賞しています。

見学に訪れた柴田視覚障がい者福祉協会「四季さくら」の平間さん（若葉町）は、「こんな偉大な人がいたことを知りませんでした。多くの人に知ってもらいたいです」と話していました。



大池氏の作品や直木賞受賞を伝える当時の雑誌などが展示されました。

広 告

広 告

柴田小学校・第二たんぽぽ幼稚園交流会

1月20日(水)、柴田小学校で、1年生と第二たんぽぽ幼稚園の年長児との交流会が行われました。

1年生は、事前に招待状を渡し、園児に楽しんでもらうとさまざまな準備をしました。当日は、国語のクイズを出したり、合奏や校歌の披露、ドッジボールをして、仲の良い友達になりました。

4月から柴田小学校へ入学予定の高橋珀人(はくと)くん、竹内優陽(ゆう)くんは、「ドッジボールがとっても楽しかったです」と感想を話していました。



園児は、お兄さんお姉さんからのクイズに大きな声で答えていました。

教職員のためのICT機器利活用研修会

12月15日(火)から25日(金)にかけて、町内の小中学校でICT機器の利活用に関する研修会が行われました。

国の「GIGAスクール構想」に基づき、児童、生徒一人一人にノートパソコンが整備されるのを前に、教職員のICTスキルの向上を目的として実施されました。

船迫小学校の大沼史輝(ふみき)先生は、「これで、多様な学習機会の場を確保することができる。子どもたちに操作方法を教えられようしつかりと勉強したいです」と話していました。



子どもたちのために熱心に研修を受けていました。

「上川名讃歌」制作発表会

12月19日(土)、農村レストラン縄文の幸で、「上川名讃歌」の制作発表会が開催されました。

上川名讃歌は、住民や上川名出身の方が、上川名愛を育み、ともに地域づくりに取り組むための一助として、地区の「君が代」になればという思いで、町のまちづくり提案制度を活用し制作されました。上川名地区活性化推進組合の平間榮雄(さか)組合長は、「農村地域が元気だと町も元気になると思います。発表会を通じ、他の農村地域へ元気が波及してほしい」と話していました。



歌詞には、上川名の四季の情景がつづられています。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

川柳

俳句

<p>孫娘ママ恋しいと泣きじゃくり 眠って越える小さな試験 四日市場 鳥井崎</p> <p>朝焼けの靄を背にうけ白鳥の 飛び立つ群れの伊豆沼の景 梶木 平間 三郎</p> <p>激増のコロナ罹患者対応す 医療従事者の心労いかに 船岡 可沼 妙子</p> <p>年新た今年の目標体力作り 歩きさぼらずボデイすつきり 西船迫 下浦 智子</p> <p>モウ丑か新しい年迎えて 時の進むの速いことよ 西船迫 安ヶ平良三</p>	<p>北風に身をまかせて踊るトンビかな いつまでも居すわるコロナに恐怖感 梶木 村上 紫寿</p> <p>節来たらインゲン植えてお楽しみ 船岡 阿部美代子</p> <p>年賀状姪の子供にごたいめん 西船迫 安ヶ平良三</p> <p>拍手にコロナ撃退力込め 北船岡 日下 功</p> <p>前向きに生きてきた積もりでも 八十路過ぎれば籠もる日多く 船岡 伊藤タイ子</p> <p>朝明けに4羽の白鳥列なして 羽ばたく翼目の前でみる 梶木 白石 光子</p> <p>細雪思ひもよらず降ってくる 生涯に出会いささいな雪なりて 船岡 沢田 順子</p> <p>孫二人それぞれ希望の道に入り 家を守るは我と愛犬 船岡 大庭 とみ</p> <p>「重いね」と姉の教科書詰め込んだ 春は入学孫とランドセル 本船迫 森田 眞六</p>	<p>除夜の鐘音色迎える初詣で 亡き義姉の形見をはをり雪の中 梶木 平間 三郎</p> <p>羽子板を昔懐かし孫が打つ 船岡 可沼 妙子</p> <p>冬深しコロナ禍の中なお寒き 西船迫 安ヶ平奈津枝</p> <p>霜柱踏めば小さく靴の跡 西船迫 佐藤 厚子</p> <p>雪掻きて猫の足跡残しをり 船岡 沢田 順子</p> <p>雪虫と戯るわれは古稀天子 西船迫 飛鳥 実南天一粒残し番鳥</p> <p>雪深しクロスワードの解けぬ夜 中野西範子</p> <p>初御空指の先まで深呼吸 石垣テル子</p> <p>別れゆくははへと止まぬ細雪 大寒の鯉に重たき池の水 遊佐 徹</p> <p>男手を借りて二日の餃子かな 一人居の座敷を通る謡初 山家美智子</p> <p>紅薄く八十歳の初鏡 三塚 直樹</p> <p>雪は葉のカタチに積もり人恋ふる 雪白の姉の背ゆたか大白鳥 若月ノリ子 及川美沙子</p> <p>大久保和子 浪山 克彦</p>
--	---	---

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで2月10日(水)まで応募ください。 圖 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



「地域貢献し隊」と「しばたっ子応援団」

「できる人が できるときに できることを」これは、「しばたっ子応援団」のキャッチフレーズです。この「しばたっ子応援団」は、登録していただいた地域の方々に、小中学生の学びと育ちを支援していただく取り組みです。小中学生は、「しばたっ子応援団」の方々とつながりやふれあいを通して、「地域の支えに感謝で応えたい」、「自分たちの住む町をきれいにしたい」、「町の行事を活気づけたい」、「住みよい町づくりに貢献したい」という思いを膨らませながら、自分たちでできることを考え、学校周辺の清掃活動や学区内施設への慰問活動などに取り組んでいます。そして、支えられる喜びを学んだ子どもたちが、今度は支える側となって、地域に貢献したいという思いをもって活動してくれることを嬉しく思っています。その子どもたちの思いから生まれたのが「地域貢献し隊」で、各校の取り組みは、今年の5月号から今年の1月号で紹介してきました。

今回は、「しばたっ子応援団」を推進する生涯学習課の松田ゆう子コーディネーターが船岡中学校で取り組んだ「よさこい踊りづくり」を通して、地域の大人と出会い、成長を実感する子どもたちの声を紹介します。



よさこいの練習に励む松田コーディネーターと船中2年生

「よさこい踊りづくり」に取り組んだ生徒たちの松田コーディネーターへの感謝の手紙(抜粋)

- ・踊り終わって幕が閉まり、一緒に踊った仲間を見ると、やりきって楽しかったという表情だった。
- ・自分自身も成長できた踊りでした。自分的に大きく成長できたと思います。
- ・人に任せるのではなく、自分がベストを尽くすことが大切だと思いました。
- ・やりきった達成感と大きな感動が得られた。松田さんがいなければこういう体験はできなかった。
- ・あいさつやまわりと協調することの大切さを学びました。
- ・感動させるよさこいを踊れて誇りに思う。前よりも胸を張っていけるような気がします。
- ・松田さんが本気で指導してくださったので、だんだん本気になりました。
- ・みんなと何かを成し遂げるのはとても楽しい、学べることが一杯あると気づきました。
- ・本番1日前、松田さんが流してくれた涙は一生忘れません。最高の踊りができました。
- ・「やっとひとつになれたね」と言っていた松田さんの顔が忘れられません。

地域の大人とつながる体験を通じて、一人でも多くの子どもたちが誰かのために役に立ちたいという思いを育んでくれることを心から願っています。

「地域貢献し隊」と「しばたっ子応援団」の取り組みは、自分たちが住む柴田町に誇りと愛着を育んでいくための大切な活動として、教育委員会と小中学校が連携を密にして継続してまいります。

〔柴田町教育委員会 教育長 船迫 邦則〕

広 告

広 告

経験を積み、水回りのプロを目指します

有限会社永山設備工業

齋藤 康太さん（24歳・写真右）
大川口 麗菜さん（20歳・写真左）

今回は、給排水設備や一般住宅の水回りの工事を行う(有)永山設備工業の齋藤康太さんと大川口麗菜さんをご紹介します。



昨年の9月に入社したばかりのお二人。齋藤さんは、「生活に必要なインフラに興味があり、また、体を動かす仕事をしたいと思っていました。この仕事を選びました」と話し、大川口さんは「元々、『多能工』と呼ばれるさまざまなお仕事をこなせる職人になりたいと思っていました。また、地元で働きたいという思いがあり、高校で建築を学んだことも生かせることから、この仕事を選びました。」

道工事を手掛ける場合もあります。そのほかに事務処理全般も行っています」と話します。

仕事をやる上で気を付けている事を伺うと、齋藤さんは、「現場仕事なので、安全には注意を払っています」、大川口さんは、「疑問に感じたことがあれば、必ず調べながら仕事をする事を心掛けています」と話してくれました。

担当する業務について、齋藤さんは、「まだ、工事で掘った穴の埋め戻しや、漏水の修理、水道の蛇口の取り付けなど、基礎的なところから経験を積んでいる段階です。勉強の毎日で、一つ一つ指示を仰ぎながら作業をこなしていきます」と話し、大川口さんは、「現場で測量を行い、それを基に給排水設備の図面を作成しています。主に一般住宅を担当することが多いですが、町の水

今後の目標について齋藤さんは、「一日でも早く現場を任せてもらえるようになることです。また、実務経験を積み、給水装置工事主任技術者の資格を取得したいと思っています」、大川口さんは、「図面の作成や、見積もり計算を素早く正確に行えるようになりたいですね。また、工事の竣工検査に立ち会えることができる排水設備工事責任技術者の資格取得が目標です」と話してくれました。これからも頑張ってください。



水道工事箇所にて転圧をかける齋藤さん。



図面作成のために排水樹の深さを測る大川口さん。



有限会社永山設備工業
柴田町船岡東4丁目10-30
TEL 54-3165

昭和53年設立。給排水工事指定店として設計・施工、水回りのリフォーム工事などを幅広く手掛ける。従業員8人

人口と世帯数
(令和3年1月1日現在)



37,598人
(前月比16人増)



18,769人
(前月比4人増)



18,829人
(前月比12人増)



16,018世帯
(前月比9世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。